

地域経済動向レポート

調査時期	2023年7月			対象期間	2023年4月～6月	
対象事業所	<b>小規模事業者対象</b> ①振興モニター 181件 (うち回答102件)      ②市内金融機関取引先19件 (うち回答19件)					
全産業合計	121件      ※全調査対象200件 中回答121件      = 回収率60.5%					
回答業種内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他
(小規模回答件数)	20	35	6	20	34	6
付帯調査	【付帯調査】事業の継続について					

【全体の動向】

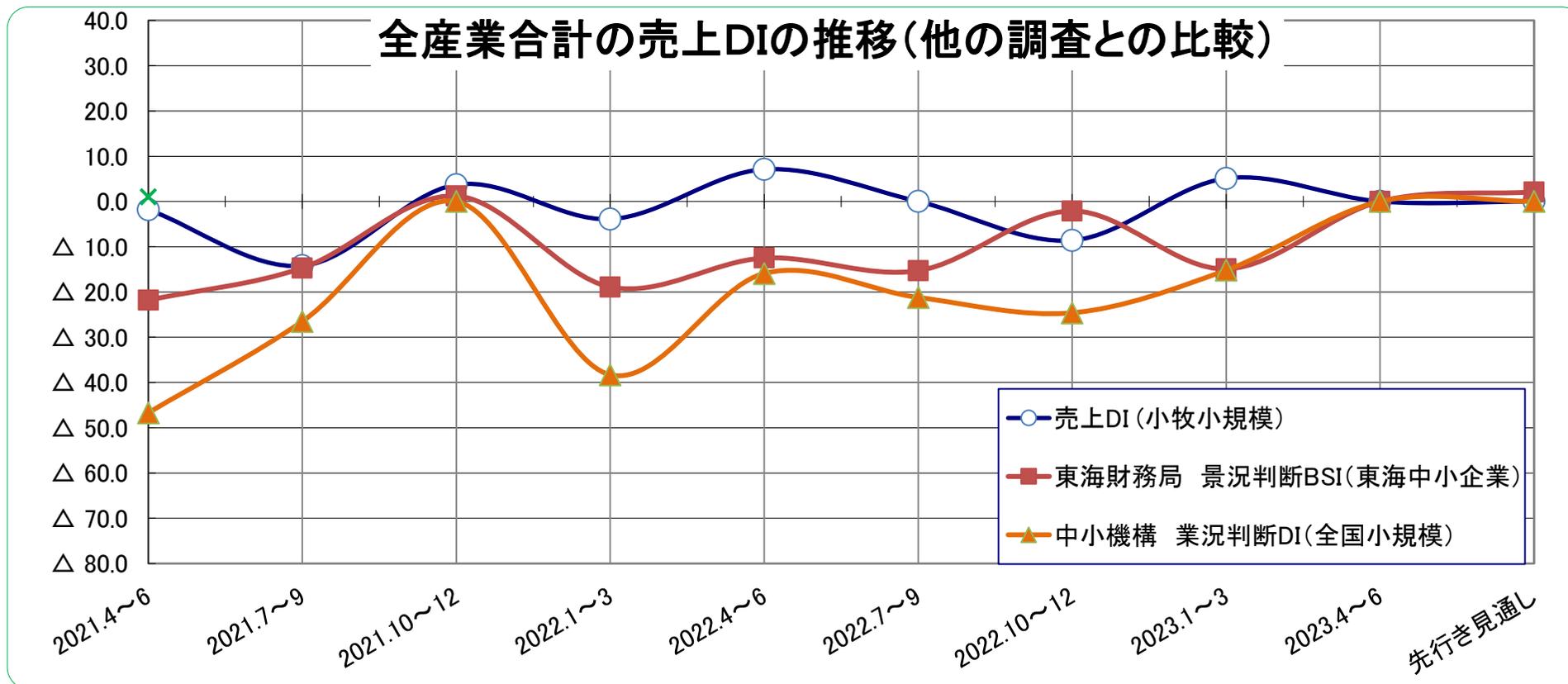
市内小規模の売上DIは（前回5.1→今回△5.8）と悪化したが、先行きはマイナスが消える見通し。  
 中小機構実施の全国小規模の業況判断DIはやや改善（前回△15.2→今回△12.4）するもマイナス傾向、先行きはマイナス幅縮小の見通し。  
 東海財務局が実施する東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）中小企業の業況判断ではマイナス幅が縮小（前回△14.9→今回△6.5）し、先行きは改善の見通しで、全国に比較すると市内小規模も含め東海地方の中小企業は微妙に下降傾向にあるが、全国的におおむね改善傾向にある。

※DI = （増加・好転などの回答割合） - （減少・悪化などの回答割合）

# 地域経済動向レポート

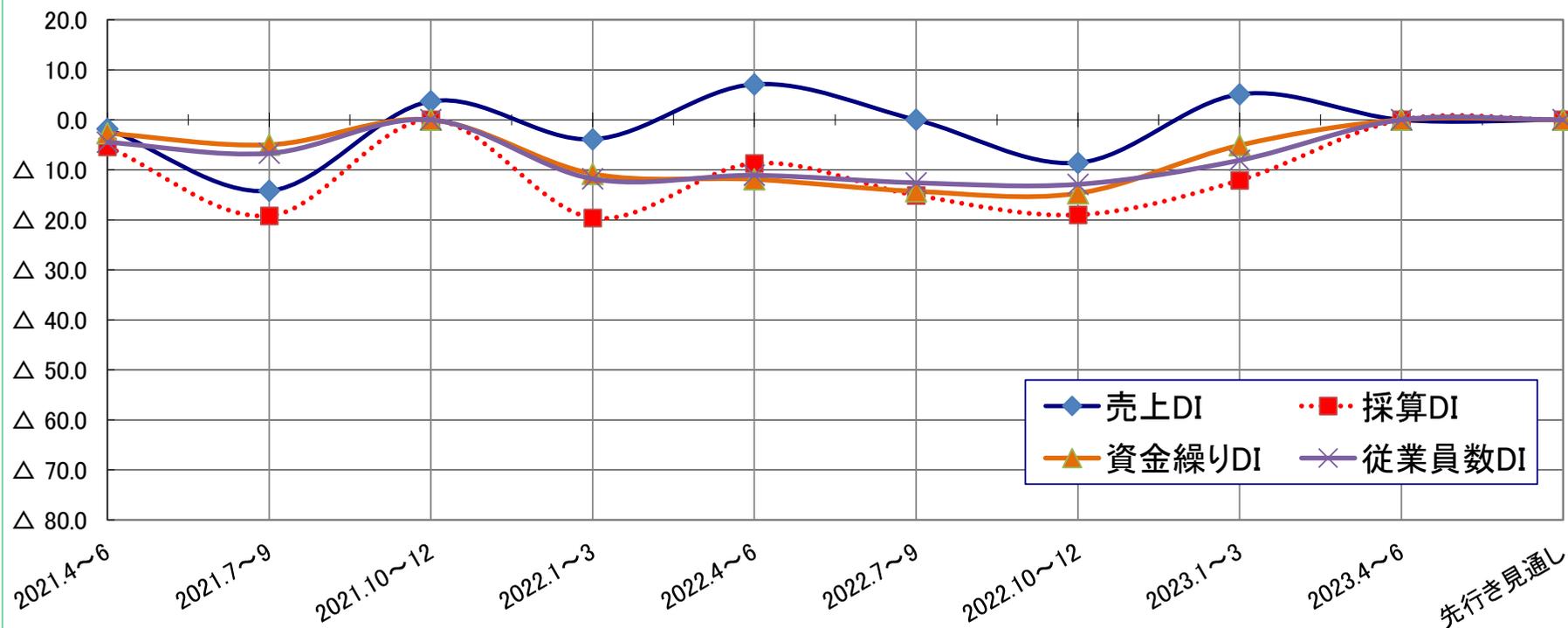
## 【全産業合計の売上D I～従業員D Iの動向／指標別】

- ① **売上D I** は2023年1～3月の調査より全体的に悪化（前回5.1→今回△5.8）したが、先行きは改善の見通し。
- ② **採算D I** はマイナス幅が拡大（前回△12.1→今回△15.7）、先行きはマイナス幅縮小の見通し。
- ③ **資金操りD I** もマイナス幅が拡大（前回△5.1→今回△9.1）であるが、マイナス幅は微減の見通し。
- ④ **従業員D I** は、不足の傾向は微増（前回△8.1→今回△8.3）で、先行きも引き続き不足となる見通し。



調査実施月	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	
調査期間	2021.4~6	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	先行き見通し
売上DI (小牧小規模)	△ 1.8	△ 14.2	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	5.1	△ 5.8	0.0
中小機構 業況判断DI (全国小規模)	△ 46.7	△ 26.5	△ 26.0	△ 38.3	△ 15.9	△ 21.2	△ 24.6	△ 15.2	△ 12.4	△ 7.9
東海財務局 景況判断BSI (東海中小企業)	△ 21.8	△ 14.7	1.2	△ 18.9	△ 12.5	△ 15.3	△ 2.1	△ 14.9	△ 6.5	2.1

### 全産業合計の売上DI～従業員DIの推移(小規模)



●全DIの推移

調査実施月	2021.4	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2023.1	2023.4	2023.7	
調査期間	2021.4~6	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	先行き見通し
売上DI	△ 1.8	△ 14.2	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	5.1	△ 5.8	0.0
採算DI	△ 5.4	△ 19.2	△ 0.9	△ 19.6	△ 8.7	△ 15.1	△ 19.0	△ 12.1	△ 15.7	△ 9.9
資金繰りDI	△ 2.7	△ 5.0	0.0	△ 10.8	△ 11.9	△ 14.3	△ 14.7	△ 5.1	△ 9.1	△ 7.4
従業員数DI	△ 4.5	△ 6.7	△ 11.2	△ 11.8	△ 11.1	△ 12.6	△ 12.9	△ 8.1	△ 8.3	△ 9.9

地域経済動向レポート

●売上DIの推移

調査実施月	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	
調査期間	2021.4~6	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	先行き見通し
全産業	△ 1.8	△ 14.2	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	5.1	△ 5.8	0.0
建設業	△ 23.8	13.6	5.6	0.0	4.8	△ 4.3	△ 15.0	0.0	15.0	△ 10.0
製造業	25.8	0.0	19.2	0.0	15.0	0.0	20.0	3.3	8.6	△ 2.9
卸売業	△ 35.7	△ 46.7	△ 30.8	△ 33.3	△ 12.5	△ 16.7	△ 36.4	28.6	△ 50.0	△ 33.3
小売業	△ 20.0	△ 18.8	42.9	△ 25.0	△ 4.2	△ 8.0	△ 29.4	△ 31.3	△ 20.0	10.0
サービス業	3.4	△ 34.6	△ 14.3	8.0	20.0	9.5	△ 12.0	20.0	△ 8.8	11.8
その他	14.3	△ 8.3	12.5	16.7	△ 12.5	25.0	△ 25.0	37.5	△ 50.0	△ 16.7

【POINT】売上DIは、卸売・その他業種で大幅に落ち込んだが先行きはそれぞれマイナス幅減少・好転の見通し。小売は徐々に回復していく見通し。

●採算DIの推移

調査実施月	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	
調査期間	2021.4~6	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	先行き見通し
全産業	△ 5.4	△ 19.2	△ 0.9	△ 19.6	△ 8.7	△ 15.1	△ 19.0	△ 12.1	△ 15.7	△ 9.9
建設業	△ 19.0	9.1	0.0	△ 15.0	△ 14.3	△ 21.7	△ 15.0	△ 11.1	10.0	△ 15.0
製造業	25.8	△ 10.3	11.5	△ 7.4	2.5	△ 11.1	2.9	△ 20.0	△ 14.3	△ 11.4
卸売業	△ 28.6	△ 40.0	△ 30.8	△ 66.7	△ 50.0	△ 50.0	△ 27.3	14.3	△ 50.0	△ 50.0
小売業	△ 40.0	△ 31.3	21.4	△ 50.0	△ 20.8	△ 28.0	△ 29.4	△ 12.5	△ 25.0	△ 5.0
サービス業	△ 10.3	△ 34.6	△ 7.1	△ 4.0	8.0	△ 4.8	△ 40.0	△ 15.0	△ 17.6	0.0
その他	14.3	△ 16.7	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	△ 25.0	0.0	△ 33.3	△ 16.7

【POINT】採算DIは、卸売・その他業種で大幅に悪化するが、その他業種ではマイナス幅縮小の見通し。建設は好転するもその後悪化の見通し。

## 地域経済動向レポート

### ●資金繰りDIの推移（小規模）

調査実施月	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	
調査期間	2021.4～6	2021.7～9	2021.10～12	2022.1～3	2022.4～6	2022.7～9	2022.10～12	2023.1～3	2023.4～6	先行き見通し
全産業	△ 2.7	△ 5.0	△0.9	△ 10.8	△ 11.9	△ 14.3	△ 14.7	△ 5.1	△ 9.1	△ 7.4
建設業	△ 9.5	9.1	16.7	10.0	△ 4.8	0.0	△ 15.0	0.0	0.0	△ 10.0
製造業	16.1	3.4	△7.7	△ 14.8	△ 15.0	△ 11.1	△ 5.7	△ 13.3	△ 11.4	△ 20.0
卸売業	△ 28.6	△ 20.0	△38.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 18.2	0.0	△ 33.3	△ 33.3
小売業	0.0	△ 6.3	△14.3	△ 33.3	△ 12.5	△ 20.0	△ 23.5	△ 6.3	△ 10.0	0.0
サービス業	△ 10.3	△ 15.4	10.7	8.0	0.0	△ 19.0	△ 16.0	0.0	△ 2.9	8.8
その他	14.3	△ 8.3	12.5	△ 16.7	△ 12.5	△ 12.5	△ 25.0	0.0	△ 33.3	△ 16.7

【POINT】資金繰りDIも卸売・その他業種では悪化し、その他業種ではマイナス幅縮小の見通し。小売・サービスがやや悪化した先行きは好転の見通し。

### ●従業員DIの推移（小規模）

従業員数DIの不足感が強い場合マイナス値になる様変更しました。

調査実施月	2021.7	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	
調査期間	2021.4～6	2021.7～9	2021.10～12	2022.1～3	2022.4～6	2022.4～6	2022.10～12	2023.1～3	2023.4～6	先行き見通し
全産業	△ 4.5	△ 6.7	△11.2	△ 11.8	△ 11.1	△ 12.6	△ 12.9	△ 8.1	△ 8.3	△ 9.9
建設業	△ 19.0	△ 9.1	△33.3	△ 25.0	△ 23.8	△ 26.1	△ 15.0	△ 11.1	△ 15.0	△ 20.0
製造業	3.2	△ 10.3	△15.4	△ 11.1	△ 12.5	△ 11.1	△ 20.0	△ 6.7	△ 8.6	△ 8.6
卸売業	△ 14.3	6.7	△7.7	△ 25.0	△ 12.5	△ 16.7	0.0	△ 28.6	0.0	0.0
小売業	0.0	0.0	7.1	0.0	4.2	△ 8.0	△ 5.9	0.0	△ 10.0	△ 5.0
サービス業	0.0	△ 7.7	△3.6	△ 4.0	△ 16.0	△ 9.5	△ 16.0	△ 5.0	△ 5.9	△ 11.8
その他	0.0	△ 16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 12.5	0.0	0.0

【POINT】従業員DIは、卸売・その他業種では人員不足が解消し、その後も維持される見通し。建設・サービスでは不足感が拡大していく見通し。

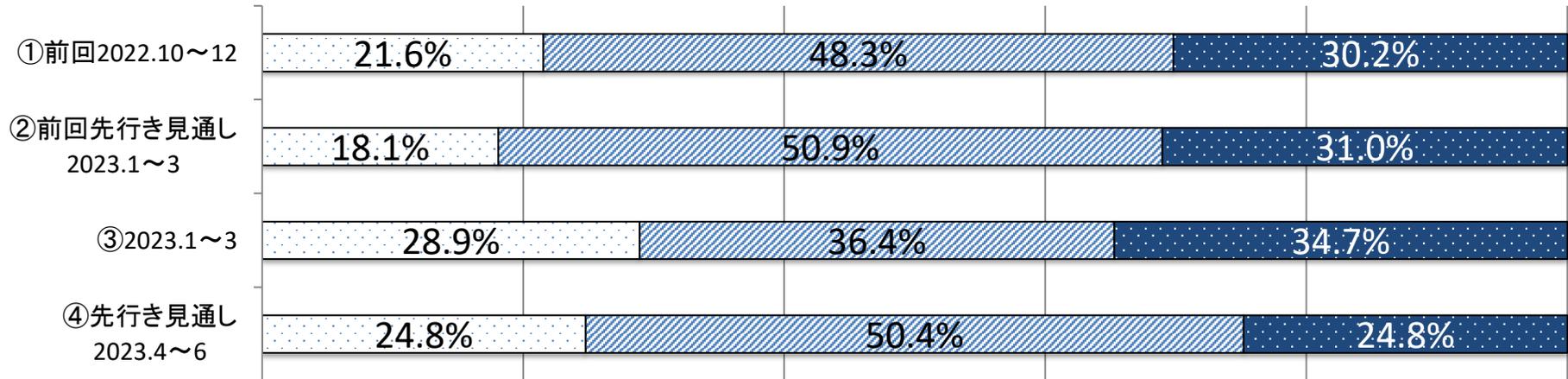
## 地域経済動向レポート

### 業況感と業界として当面している問題等に関する声

業種		内容
建設	現状	売上、資金繰りともに徐々に回復傾向にありますが、コスト増でもあり、まだ不安定です／防水工事
	先行き	原材料などの入荷の遅延などにより工事の進捗が不安定／電気設備工事
製造	現状	取引先からの注文数の大幅減少の為／設備部品製造
	先行き	公共の団体からの受注は確保できており、民間からの受注が今後回復していけば好転すると見込まれる／厨房製品製造
卸売	現状	既存顧客の売上不振／家具卸
	先行き	仕事は減少傾向。インボイスを導入しないため、さらに減る可能性がある／建築材料卸
小売	現状	コロナ禍以来、外出が減った事による顧客層の購買意欲の低下／婦人服小売
	先行き	季節の商売なので、夏は忙しいです／家庭電化品小売
サービス	現状	コロナの規制が緩和され、人が動き出した事と、お店側の考え方の変化／イタリアン飲食店
	先行き	広告宣伝費を昨年より多く使う見込みであり、コロナの影響も落ち着いてきていることから、来客が見込まれる／和食全般飲食業
その他	現状	管理料収入（ほぼ固定収入）が中心であるため／不動産業
	先行き	アパート経営のため、それほど大きく変動はない見通し／不動産業（アパート）

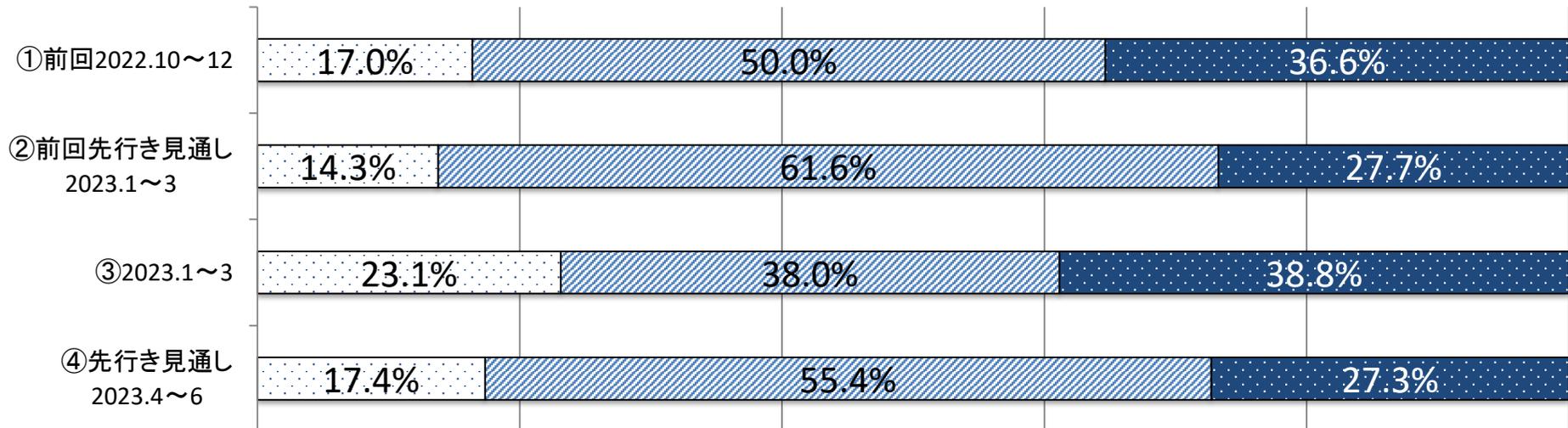
### 小規模の売上(回答割合)

□ 増加   ■ 不変   ■ 減少



### 小規模の採算(回答割合)

□ 好転   ■ 不変   ■ 悪化



## 付帯調査 事業の継続について

### 事業承継の予定

①既に後継者候補がいる	34	29.3%
②現時点では考えていない	82	70.7%



### 既に後継者候補がいる の対象者

家族・親類	31	93.9%
従業員	2	6.1%
その他	0	0.0%



### 現時点では考えていない 理由

代表者が若い	19	
自身の代で廃業の予定	13	
まだ承継する気はない	33	
第三者への譲渡を検討	5	
その他	0	

### 代表者が若い 年齢は？

20代	1	
30代	2	
40代	11	
50代	3	
60代	1	